

科目名	メディアコンテンツ基礎		英文表記	Fundamentals of Media Contents		平成29年3月14日	
科目コード	1302					作成	
教員名: 佐久本功達 技術職員名: 釣 健孝							
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態
メディア情報工学科			1年	必	履修	3単位	講義
授業期間			通年				
科目目標【MCG目標】	① 小規模なウェブコンテンツの企画・制作を自分自身で行えるようになる。 ② 情報デザインという考え方を理解し、ユーザビリティ・アクセシビリティを含むコンテンツの質について配慮できるようになる。 ③ メディアリテラシーという考え方を理解し、コンテンツの制作及び運用における倫理的問題について配慮できるようになる。						
総合評価	① 課題レポート(前期10%+後期10%=20%) ② 作品制作レポート(前期10%+後期10%=20%) ③ 作品(品評会の学生相互評価10%+教員による評価15%=25%、前期25%+後期25%=50%=(20%+30%)) ④ 参加姿勢(10%)参加姿勢については毎回提出するリフレクションペーパーの内容および受講態度によって評価する。						
科目達成度目標	目標割合		科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック		
					理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)
	80%	①	小規模なウェブコンテンツの企画・制作を自分自身で行える。	作品の品評会、レポートによって評価する。	jQueryの文法の3つのポイント「セレクト」、「メソッド」、「イベント」について理解しており、正確に説明でき、jQueryを利用して、リッチなWebコンテンツを制作できる。	HTML5、CSS3、jQueryのWebページにおける役割について理解しており、正確に説明できる。	基礎的なHTML5のタグについて理解し、文字データと画像データをWebページ内に適切に配置することができ、かつCSS3の仕組みについて理解しており、スタイルシートによるWebページのデザインができる。
	10%	②	情報デザインという考え方を理解し、ユーザビリティ・アクセシビリティを含むコンテンツの質について配慮できるようになる。	課題レポートによって評価する。	情報デザインの概念について理解し、作品制作の中で効果的に運用できる。	情報デザインの概念について理解し、作品制作の中で運用できる。	情報デザインの概念について理解でき、ウェブコンテンツの制作プロセスと関連づけることができる。
10%	③	メディアリテラシーという考え方を理解し、コンテンツの制作及び運用における倫理的問題について配慮できるようになる。	課題レポートによって評価する。	メディアリテラシーについて理解し、作品制作の中で効果的に運用できる。	メディアリテラシーについて理解し、作品制作の中で運用できる。	メディアリテラシーについて理解でき、ウェブコンテンツの制作プロセスと関連づけることができる。	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	<本科教育目標> (3) 専門的基礎知識を理解し、自ら学ぶことのできる人材を育成する		
	○	○	◎	○			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	20	80	100	
基礎的理解	①②			20	20	40	
応用力(実践・専門・融合)	②③				30	30	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	③				20	20	
主体的・継続的学修意欲	④				10	10	
授業概要、方針、履修上の注意	[授業概要、方針] 21世紀の現代、情報技術の急速な発展は社会の国際化をさらに加速させており、インターネット上にインタラクティブで魅力的なサイトを構築するために、ウェブページ作成に関する基礎知識が個人でも組織でも、またどの分野に於いても重要となってきている。この授業では、主にクライアントサイドにおけるウェブページ作成に必要な様々な基礎知識と技法を演習を通して修得する。例えば、HTML5、CSS3などである。受講生は、上記の技術を演習で確認しながら、ウェブページ作成に関する知識と技術を概観する。さらに、優れたWebサイトは、明確なテーマを持ったコンテンツで構成されており、訪れるユーザに対し、日々有意義な情報を提供している。Webを利用した情報発信を実践するためには、リッチコンテンツ(Rich Contents)、すなわち、動的な映像やアニメーション、CG、音声などを利用した表現豊かなコンテンツを構築する必要がある。この講義の後半では、HTML5とCSS3の知識を前提とし、jQueryを基礎から解説する。jQueryとはJavaScriptライブラリの1つで、JavaScriptでよく使用される機能を簡素化したライブラリファイルの名称である。受講生は、jQueryを利用した基礎的なWebページ作成演習を通して、模範的なWebサイトを構築しながら、リッチなWebコンテンツ制作に関する知識と技術を習得する。 [履修上の注意] (1) デザインとは個々人の感覚や考え方を他者とのコミュニケーションの中で何らかの「かたち」として表現する作業であり、デザインの基礎は表現の方法のみならず、デザイナー自身の「感じる力」「考える力」「関わる力」にある。日常生活の中で、より多くの感動を得、より深く考え、より多くの人と関わりながら、学習を進めて欲しい。(2) コンピュータを使った長時間の作業は身体への負担が大きいので、体調を整えて授業に参加してもらいたい。						
教科書・教材	授業用ウェブページを教科書また教材の主な提供手段として使用する。演習データの保存には、校舎および学生寮からLANを通してアクセスできる学科のネットワークストレージを使用する。						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1	オリエンテーション・下準備	2	シラバスの説明、ブラウザ・テキストエディタの準備等		
2	基本的なページの作成	2	HTMLファイルとスタイルシートファイルの作成等		
3	基本的なページの作成	2	文字デザイン等		
4	レイアウトとデザイン	2	背景色等		
5	レイアウトとデザイン	2	影を付ける等		
6	画像の表示	2	画像の表示等		
7	画像の表示	2	背景画像の表示等		
8	リンクとナビゲーション	2	リンクの設定等		
9	リンクとナビゲーション	2	ナビゲーションメニューの設定等		
10	インデックスページの作成	2	記事の一覧ページの作成等		
11	インデックスページの作成	2	トップページの作成等		
12	テーブルとフォーム	2	テーブルの作成等		
13	テーブルとフォーム	2	投稿フォームの作成等		
14	仕上げとアレンジ	2	文法チェック等		
15	作品の品評会	2	総括		
期末	期末試験	[0]			
16	オリエンテーション・下準備	4	シラバスの説明、開発環境の準備等		
17	Webページの構成要素につ	4	jQueryとJavaScriptの違い、jQueryライブラリの準備		
18	jQueryの基礎知識	4	セレクタ/メソッド/イベント		
19	jQueryの文法	4	セレクタ		
20	jQueryの文法	4	メソッド(html/text/val/attr)		
21	jQueryの文法	4	メソッド(HTML要素・文字を追加・削除するメソッド/メソッド)		
22	jQueryの文法	4	イベント(on/of/マウスから発生するイベント)		
23	jQueryの文法	4	イベント(change/その他のイベント)		
24	実践的なメソッド	4	hide/show/fadeOut/fadeIn/slideUp/slideToggle/		
25	jQueryアニメーション	4	animate		
26	jQueryプラグイン・ライブラリ	4	スライドショー(bxSlider/slidr.js)		
27	jQueryプラグイン・ライブラリ	4	ポップアップ(ColorBox)/アコーディオン(liteAccordion)		
28	Webコンテンツ制作 I	4	作品の品評会に向けてWebコンテンツ作成を行う。		
29	Webコンテンツ制作 II	4	作品の品評会に向けてWebコンテンツ作成を行う。		
30	作品の品評会	4	総括		
期末	期末試験	[0]			
学習時間合計		90	実時間	67.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間	
①					
②					
③					
備考欄					

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)